小杉山円満寺　令和四年星まつり・節分会号

寺だより

新庄市五日町五九一四
TEL二二一-〇四三三　Fax三二一-〇一六六
発行日令和四年一月吉日　発行人:山尾瑛紀

新年明けましておめでとうございます

令和四年がスタートして、半月ほどが過ぎました。

御信徒の皆さまには、ますますお健やかに、お過ごしのことと、心からお慶び申し上げます。

そして、今年一年健やかで幸の多いものとなりますようお祈りいたします。

今回の寺だよりは、「星まつり」について載せました。

星まつりとは

星まつりは、古来より行われてきました宗教的な行事です。人の運勢を司るとされる星々を供養する法要です。

弘法大師伝来の真言密教の秘法をもって、その年の、ひとそれぞれの運命を司る九つの星を供養し、無事息災、一家繁栄、開運招福など所願成就を祈願するものです。

星まつりと節分会

星まつりは寺院によっては、年末年始や本尊の初縁日に勤められます。

当円満寺は、節分の日にお勤めいたします。

これは、一年間の人の運勢を司るとされる「当年星（とうねんじょう）」とよばれる星が交替するのが春の節分だからです。

当年星は日曜星・月曜星・火曜星・水曜星・木曜星・金曜星・土曜星の七つの星に、古代インドにおいて日蝕（けいせい）や月蝕（らせい）を引き起こすとされた計都星と羅喉星（らごせい）の二つを加えて九曜星（くようせい）とよばれます。

年廻り運勢吉区表

羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星
●大凶	◑春夏凶 秋冬吉	◐夏冬凶 春秋吉	①春冬吉 夏秋凶	○大吉	●大凶	●大凶	○大吉	❶春冬凶 夏秋吉
一才 三七 四六 五五 六四 二八 一〇 一九 二〇 二九 一〇〇	二才 三八 四七 五六 二〇 二九 六五	三才 三九 四八 五七 二一 三〇 六六	四才 四〇 四九 五八 二二 三一 六七	五才 四一 五〇 五九 二三 三二 六八	六才 四二 五一 二四 三三 六九	七才 四三 五二 二五 三四 七〇	八才 四四 五三 二六 三五 七一	九才 四五 五四 二七 三六 七二
七三 八二 九一 一〇〇	七四 八三 九二	七五 八四 九三	七六 八五 九四	七七 八六 九五	七八 八七 九六	七九 八八 九七	八〇 八九 九八	八一 九〇 九九
この星に当る年はいん運にして種子地中に潜むごとし何ごともあせらず慎重にして時節を待て家庭の口舌病難注意	この星に当る年は陽運にして春の花開くが如し但し風ある年なれば油断なく辛抱せよ交通機論争火難盗難注意	この星に当る年は大運にして果実みのるが如し心掛け一つにて吉も凶と変ず着実を旨とせよ水難色難健康注意	この星に当る年は暗運にして秋風落葉の如し物事やりすぎざるよう心掛け誠意もて働くべし金銭文書の難注意	この星に当る年は幸運にして福徳福運に恵るも急変度過の兆あり健康に注意し業務上の争論を慎め盗難注意	この星に当る年は運運にして明月雲に隠れた如し焦らず勇猛心をもて勤勉力行せよ金銭異性病難注意	この星に当る年は迷運にして小舟海中で暴風に逢う如し気を落さず奮闘努力せよ希望遂成す異性病難交通難注意	この星に当る年は逆運にして一陽来復のかたちゆうちよせず奮って虎穴に入れ但し目上の意見を用いよ盗難火難注意	この星に当る年は衰運にして順風に帆を上げるが如し調子に乗らず油断なく気をくばるべし病難金銭論争注意

表の年齢は、数え年です。

この九つの星のいずれかが、人それぞれの当年星として毎年変わり、一年を左右することから、これらの星々にお供物を捧げたり、護摩供などを勤めてご供養したりして、災いを避けるように祈ります。

節分会と大黒天さま

節分会星まつりのときにお祀りするのは、大黒天さまです。

大黒天は、開運・福徳の神様。災難厄病悪鬼を追い払い、様々な福をもたらしてくださいます。

円満寺

節分会星まつり追難式祈祷

二月三日（木）午後三時　歓喜天堂

◎ 内容　護摩祈祷・法話・豆まき・福引

◎ 祈願料

・星まつり**お守**　三百五十円

・星まつり**お札**　二千五百円・三千五百円　五千円

※ 申し込み書にご記入の上、ファックス・郵送、またはお寺にご持参くださいますようお願いいたします。

※ 市内にお住まいの方は、電話をくだされば、受け取りに伺います。

※ 市外、県外からのお申し込みの方へは、祈祷したお守とお札は、郵送も承ります。（送料は別途いただきます。）

おすゝめ

のぼり旗

奉納のご案内

お願い事を込めたのぼり旗を奉納し、一層のご加護を受けてみませんか。

のぼり旗は「大聖歓喜天」のほかに、「南無大師遍照金剛」「南無虚空蔵菩薩」「子育て地蔵尊」「稲荷大明神」があります。

ご奉納いただいたのぼり旗に、「願い事」「名前」を書いて、護摩祈祷の後、境内に掲げます。

＜期間＞　奉納日よりおよそ一年間

＜奉納料＞一本　２５００円

開山四百年

当山は、一六二四年（寛永元年）、初代藩主戸沢正盛公の叔父甚盛上人によって開山されました。

以来、法灯四百年。二〇二四年（令和六年）に、開山四百年という節目を迎えます。

それに当たり、お祝いの行事を行いたいと考えています。

それに向けて、檀信徒の皆さまのお力添えをお願いいたします。

今日の法語「知足（ちそく）」

本能に任せて絶えず欲しいものを求める心に、安心は訪れません。しかし、念願のものを手に入れても、新たなる欲望が尽きないのは人の性といえるでしょう。

昨今の国際目標「ＳＤＧＳ（持続可能な開発目標）」という言葉をよく耳にするようになりました。「これで充分です」という多くを求めない「**足るを知る心**」によって、人は幸せを実感できるという教えに深く通じるように感じます。

先ずは「**足るを知る**」ことから世界の人々と心を共にし、幸福な世の中がいつまでも持続可能でありますようお祈りしましょう。

本山智積院季刊誌より引用